

行政経営評価（施策評価）

ライフステージの視点 (生活と時間)	3. 働 く	産業関連の各分野を【働くライフステージ】に該当する分野と捉えます。
-------------------------------	---------------	-----------------------------------

施策分野	目指すべき姿
3-① 水産業振興	水産業関係者が生き生きと活動できるよう環境整備を推進し、海（獲る）と陸（流通・加工）が一体となった「水産都市・銚子」として飛躍するまち
3-② 農業振興	中心的な担い手の農地の集積・集約化が進み、収益性の高い農業を展開していくことにより、産業としての農業が持続されていくまち
3-③ 商工業振興	地場産業が活性化するとともに、新たな担い手による事業も展開され、雇用機会が確保されるまち
3-④ 観光振興	豊かな地域資源の活用と関係主体の連携により、魅力的な観光資源が形成され、多くの観光客が訪れるまち
3-⑤ エネルギー関連産業振興	大規模洋上風力発電施設の運転開始と再生可能エネルギーの地産地消を目的とした地域新電力事業の普及が実現したまち

■まちづくりの視点

市民の視点	誰もが自分なりの力を試し発揮する
行政の視点	市の強みを磨き、雇用の場を創出する
協働の視点	地域資源の共有を通じて価値づくりに取り組む

■成果指標と現状

指標名 (対象分野)	計画策定時 (基準年度)	3年後 (2021年度目標値)	現状 (最新)	5年後 (2023年度目標値)	10年後 (2028年度目標値)
① 廻船による水揚げ金額 (水産業振興)	221億円 (2017年)	221億円	222億円 (2022年)	221億円	221億円
② 農家1戸当たり経営耕地面積 (農業振興)	231アール (2015年)	252アール	244アール (2020年度)	257アール	270アール
③ J A 営農センター銚子管内野菜出荷量 (農業振興)	115,260 t (2017年度)	118,500 t	110,718 t (2022年度)	119,500 t	122,400 t
④ 企業・起業家の立地・創案件数 (商工業振興)	8 件 (2017年度)	延べ 30件	延べ 8件 (2022年度)	延べ 50件	延べ 100件
⑤ 市内事業所数 (商工業振興)	3,672箇所 (2016年)	3,600箇所	3,096箇所 (2021年)	3,600箇所	3,600箇所
⑥ 観光入込客数 (観光振興)	2,560千人 (2017年)	2,888千人	1,958千人 (2022年)	3,046千人	3,552千人
⑦ 外国人宿泊者数 (観光振興)	4,503人 (2017年)	10,375人	1,291人 (2022年)	12,554人	20,218人
⑧ 地域新電力会社の販売電力量 (エネルギー関連産業振興)	2018年6月 設立	4,100MWh	2,302MWh (2022年度)	4,700MWh	5,300MWh
⑨ 洋上風力発電設備の誘致 (エネルギー関連産業振興)	促進区域指定から 7年後運転開始※	環境影響評価	環境影響評価・ 公募占用計画認定	着工	運転開始

※促進区域指定から7年後運転開始の目標スケジュール

(起点) 促進区域指定 ⇒ [1年後]事業者公募・決定 ⇒ [2年後]環境影響評価 ⇒ [4年後]着工 ⇒ [7年後]運転開始

成果指標と現状の分析
<p>水産業振興及び農業振興の分野では、指標の値は順調に推移している。銚子漁港の水揚量は12年連続（2011年～2022年）で日本一となり、春キャベツの生産量も日本一を継続するなど、市の基幹産業である農業及び水産業は、引き続き力強さを見せている。漁港整備の促進では、大型船や廻船が入港可能な漁港の機能確保及び防災機能の強化を図るため、千葉県と連携し、特定漁港漁場整備計画に基づく整備を進めた。</p> <p>商工業振興の分野では、事業所数が大きく減少している。引き続き、新たに事業拠点を設ける民間事業者や事業の拡充・継続をめざす地元事業者に対する支援が必要である。</p> <p>観光振興の分野では、観光入込客数の回復が十分ではない。外国人宿泊者数は前年と比較して大幅に増加したものの、コロナ禍前（2019年度）の数値には遠く及ばない。銚子みなとまつり、さんまマラソンなどの各種イベントが中止となるなど、観光需要の回復に向けては、依然として厳しい状況が続いた。</p> <p>エネルギー関連産業振興については、洋上風力発電の公募占用計画が認定され、本格的に事業が動き出す段階となった。地域新電力会社の販売電力量は、電力需給の逼迫やエネルギー価格の高騰の影響で電力の調達費が増加したことで、積極的な営業活動がかなわず前年度よりさらに減少している。同社では発電施設を保持していないことから、電力の安定的な確保が課題となっている。</p>

行政経営評価シート

事業ID	10602030125
------	-------------

事務事業名	銚子漁港整備経費	所管	水産課
-------	----------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(1)-1 漁港整備の促進
	関連計画	○ : 総合戦略 — : その他 (—)
	目的	特定漁港漁場整備計画に基づき整備することで、地元水産業の振興を図る。
	対象	漁業者、漁業協同組合
	事業内容	国の定める特定漁港漁場整備計画に基づき、市及び地元漁業者の意見を取り入れながら、漁港管理者である千葉県が行う漁港整備事業について、費用の負担をする。

(単位: 千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	155,411	87,738	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
					76,200	175	11,363

事業の実績と成果	活動指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
				目標値		
				実績値		
			%	達成率		
				目標値		
				実績値		
			%	達成率		
				目標値		
				実績値		
			%	達成率		
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3	
	()		目標値			
			実績値			
		%	達成率			
	()		目標値			
			実績値			
		%	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載						
国の定める特定漁港漁場整備計画に基づき千葉県が実施する事業であり、令和4年度は漁港内の静穏度を確保するための沖南防波堤関連整備のほか、マイナス7.5m岸壁の実施設計や泊地の浚渫工事などが行われた。大型船や廻船が入港可能な漁港の機能確保及び防災機能の強化を図っていく。						

事業の検証	事業の課題	漁港を利用する地元漁業者の意見を踏まえて行われる漁港整備に伴う地元市町村負担金について、今後も確実な予算措置が必要となる。(財政負担が大きい)						
	評価視点				総合評価			
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当				
	高い	高い	高い					
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 重要な水産業振興事業として、特定漁港整備計画に基づき、今後も継続していく。				
	成果の方向性	拡充						
現状維持							○	
縮小								
休廃止								
			皆減	縮小	現状維持	拡大		
			コスト投入の方向性					

行政経営評価シート

事業ID	10602030225
------	-------------

事務事業名	外川漁港整備経費	所管	水産課
-------	----------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(1)-1 漁港整備の促進
	関連計画	○ : 総合戦略 — : その他 (—)
	目的	市及び地元漁業者の意見を取り入れながら整備することで、地元水産業の振興を図る。
	対象	漁業者、漁業協同組合
	事業内容	市及び地元漁業者の意見を取り入れながら、漁港管理者である千葉県が行う漁港整備事業について、費用の負担をする。

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	62,268	25,043			20,600	4,443

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3	
			目標値		
	%	実績値			
		達成率			
	%	目標値			
		実績値			
	%	達成率			
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値			
		実績値			
	%	達成率			
()	%	目標値			
		実績値			
	%	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					
漁港管理者（千葉県）が実施する事業であり、令和4年度は航路・泊地浚渫や臨港道路ほか維持修繕を行った。地元船が安全に入港できるよう漁港の機能確保を図っていく。					

事業の検証	事業の課題	漁港を利用する地元漁業者の意見を踏まえて行われる漁港整備に伴う地元市町村負担金について、今後も確実な予算措置が必要となる。（財政負担が大きい）				
	評価視点			総合評価		
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当		
	高い	高い	高い			
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 重要な水産業振興事業として、今後も継続していく。		
	成果の方向性	拡充				
現状維持			○			
縮小						
休廃止						
コスト投入の方向性						
	皆減	縮小	現状維持	拡大		

行政経営評価シート

事業ID	10602022125
------	-------------

事務事業名	廻船誘致対策経費	所管	水産課
-------	----------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(1)-2 沿岸漁業・水産加工業の振興
	関連計画	○ : 総合戦略 — : その他 (—)
	目的	銚子漁港へ水揚げされる数量の約8割が廻船で占められている現状に鑑み、廻船の水揚優秀船等への賞状及び記念品贈呈を行うことにより、市からの謝意を表し、また、廻船の船主訪問を行うことにより更なる廻船誘致を行う。
	対象	銚子漁港を利用する廻船及び関係者
	事業内容	銚子漁港を利用する廻船に対する、謝意を伝えるための現地訪問、賞状及び記念品の授与を行う。また、廻船を誘致するための船主訪問を行う。

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	440	166				166	

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3	
			廻船の入港数	隻	目標値 実績値
	%	達成率	80.8	106.7	
		目標値 実績値			
	%	達成率			
		目標値 実績値			
	%	達成率			
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
廻船の水揚量		t	目標値 実績値	240,000 201,887	240,000 241,598
(廻船の水揚量)		%	達成率	84.2	100.7
			目標値 実績値		
		%	達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					
旋網漁船においては、年々大型化が進んでおり、大型船が入港するための漁港整備を加速していく必要がある。					

事業の課題	効果的な廻船誘致の方法					
事業の検証	評価視点			総合評価		
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当		
	やや高い	やや高い	やや高い			
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 銚子漁港の水揚量並びに水揚額の8割以上は廻船により賄われている。銚子漁港への廻船誘致活動は重要な役割を担っており、引き続き事業を継続していく。		
	成果の方向性	拡充	現状維持			縮小
	○					
	皆減	縮小	現状維持	拡大		
	コスト投入の方向性					

行政経営評価シート

事業ID	10602020225
------	-------------

事務事業名	栽培漁業推進経費	所管	水産課
-------	----------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(1)-5 内水面漁業の振興
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	栽培漁業の推進及び普及を図り、沿岸漁業の振興に寄与する。また、利根川の資源の維持を図るとともに生産の増大を期する。
	対象	中利根漁業協同組合及び銚子市漁業協同組合
事業内容	栽培漁業の推進及び普及を図るため、海面漁業のマダイ・ヒラメ稚魚放流に係る事業への負担金及び内水面放流事業に対する補助事業を実施する。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	229	229		29		200

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			ヒラメの種苗放流数	尾
	%	実績値	138,600	137,700
		達成率	—	—
マダイの中間育成・放流数	尾	目標値	—	—
	%	実績値	162,795	158,870
		達成率	—	—
フナ放流量	kg	目標値	—	—
	%	実績値	120	120
		達成率	—	—
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値		
		実績値		
		達成率		
()	%	目標値		
		実績値		
		達成率		

事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載

水産資源維持を図った。

事業の課題	費用対効果が見えづらい事業ではあるが、事業活動そのものはわかりやすい事業でもあることから、市民や地元小中学生の参加など、さらに事業をPRしていく必要がある。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当
	やや高い	高い	やや高い	
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 水産資源の維持を図るため、今後も事業を継続する。
	成果の方向性	拡充	現状維持	
現状維持		縮小	休廃止	
皆減		縮小	現状維持	
皆減		縮小	現状維持	
コスト投入の方向性				

行政経営評価シート

事業ID	10602020125
------	-------------

事務事業名	漁港周辺環境整備経費	所管	水産課
-------	------------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(1)-6 その他【水産業振興】
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	水揚げ量日本一を誇り、多くの水産業者が利用するだけでなく観光資源にもなっている銚子漁港・外川漁港の環境を整備し、水産業の円滑化と生産性の維持、観光客の増加を図ることで、産業の振興に寄与する。
	対象	漁船員、漁業関係者、市民、観光客
事業内容	漁港区域内に千葉県が設置した「中央町広場」「夕陽に映える広場」「第1市場公衆トイレ」と、市が設置した「本城海岸通公衆トイレ」「外川漁港内公衆トイレ」「長崎防災空地」の日常的維持管理等を実施し、漁港周辺の環境整備に努める。	

(単位: 千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	2,283	2,281		265		2,016

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			委託清掃時間	時間
		実績値	375	385
	%	達成率	100	100
		目標値		
		実績値		
	%	達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
水道使用量からの推定トイレ利用人数 (トイレ使用1回あたりの水道使用量から利用者数を推計)	人	目標値	—	—
		実績値	73,149	77,361
	%	達成率	—	—
()		目標値		
		実績値		
	%	達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				

事業の課題	各施設の老朽化に伴い、今後施設補修等費用が見込まれる。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当
	高い	やや高い	やや高い	
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善など) 漁業関係者のみでなく、市民・観光客も利用する施設を今後も適切に維持管理していく。
	成果の方向性	拡充		
現状維持			○	
縮小				
休廃止				
	皆減	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

行政経営評価シート

事業ID	10602021425
------	-------------

事務事業名	水産物放射性物質測定経費	所管	水産課
-------	--------------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(1)-6 その他【水産業振興】
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	銚子漁港に水揚げされる水産物について、放射性物質の簡易測定を実施し、安全性を確認する。
	対象	銚子漁港に水揚げされる水産物
事業内容	水産物放射性物質測定については、東日本大震災直後の福島原発事故に関連し、銚子漁港に水揚げされる水産物に対する放射能汚染の監視体制を強化するため、銚子市漁業協同組合からの要請を受け、平成24年から市で実施している。	

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	3,328	2,895				2,895

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3	
			測定件数	件	目標値
		実績値	139	148	
	%	達成率	107	113.9	
		目標値			
		実績値			
	%	達成率			
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
()		%	目標値		
			実績値		
		%	達成率		
()		%	目標値		
			実績値		
		%	達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					
銚子漁港に水揚げされる水産物については、平成24年から放射性物質の測定を行っているが基準値を超えたものはないため、銚子漁港で水揚げされる水産物の安全性は確認されている。 ※一般食品の放射性物質の基準値は100Bq/kgに設定されている。					

事業の課題	アルプス処理水の海洋放出もあり放射性物質への関心が高まっており、水産物の安全確認のニーズは増している。しかし、原発事故後10年以上、基準値を超える水産物の水揚げが一度もない中、当該事業の内容や期間について検討していく必要がある。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当
	高い	高い	高い	
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 震災復興特別交付税算定対象事業である限り、銚子漁港での取り扱い水産物の安全・安心を確認するため、引き続き事業を継続していく。
	成果の方向性	拡充	現状維持	
縮小		現状維持	拡大	
休廃止		現状維持	拡大	
皆減		縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

行政経営評価シート

事業ID	10601031626
------	-------------

事務事業名	経営所得安定対策等推進経費	所管	農産課
-------	---------------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(2)-1 農業生産の基盤整備
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	米・麦・大豆等について、需要に応じた生産の促進と水田農業全体としての所得向上を図る。
	対象	水田農業者
事業内容	平成23年度から本格実施された「農業者戸別所得補償制度」(現在は「経営所得安定対策」に名称変更)を引き続き実施する。各事業を柱に、食糧自給率・自給力の向上と、農業経営の安定を図る。	

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	4,249	3,003		3,002		1

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3	
			水田農家(田を所有若しくは借用している農家)	件	目標値
	%	実績値	1,653	1,634	
		達成率	—	—	
収入減少影響緩和交付金申請件数	件	目標値	—	—	
	%	実績値	34	42	
		達成率	—	—	
水田活用の直接支払交付金申請件数	件	目標値	—	—	
	%	実績値	21	16	
		達成率	—	—	
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
()			目標値		
	%		実績値		
			達成率		
()			目標値		
	%		実績値		
			達成率		

事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載

水田農家へ当年産米の作付面積、生産数量を配分し、営農計画書に提示して配布した。また、回収した営農計画書により水田のデータベースを更新し、水田の状況把握に努めた。

事業の課題	制度が開始されてからあまり時間が経っていないため、毎年、実施要領の改正があり、農業者からの要望があったとき、その都度、事業の実施要件に合致しているか、注意する必要がある。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当
	高い	高い	高い	
	今後の方向性			<p>総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)</p> <p>食糧自給率及び自給力の向上には、水田による耕作を行う農業者の経営所得の安定化を図る必要がある。</p>
	成果の方向性	拡充		
現状維持			○	
縮小				
休廃止				
	皆減	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

行政経営評価シート

事業ID	10601050226
------	-------------

事務事業名	広域営農団地農道管理経費	所管	農産課
-------	--------------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(2)-1 農業生産の基盤整備
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	流通体系の柱となる基幹農道を計画的に整備し、生産流通の合理化を図り、農産物の効率的な輸送による輸送費の削減、農産物の痛みの防止等を図る。
	対象	農業生産者、道路利用者
事業内容	広域農道の維持管理	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	8,382	8,382					8,382

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3	
			除草・清掃活動面積	m ²	目標値
	%	実績値	8,600	5,390	
		達成率	—	—	
舗装修繕面積	m ²	目標値	—	—	
	%	実績値	388	83	
		達成率	—	—	
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値			
		実績値			
()	%	目標値			
		実績値			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					
除草業務、舗装修繕工事などを実施した。(市単独)					

事業の課題	交通安全対策に係る維持管理費の負担が増加しているため、対応していく必要がある。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当
	高い	高い	高い	
	今後の方向性			<p style="text-align: center;">総 評</p> <p style="text-align: center;">(今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)</p> <p>本広域農道を予防保全するため、日常的パトロールで安全確認を実施し、5年に1回の目視による橋梁点検を実施することで、維持管理に努める。</p>
	成果の方向性	拡充		
現状維持			○	
縮小				
休業止				
コスト投入の方向性				
	皆減	縮小	現状維持	拡大

行政経営評価シート

事業ID	10601050426
------	-------------

事務事業名	広域営農団地農道整備経費（地方創生道整備推進交付金事業）	所管	農産課
-------	------------------------------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(2)-1 農業生産の基盤整備
	関連計画	○ : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	流通体系の柱となる基幹農道を計画的に整備し、生産流通の合理化を図り、農産物の効率的な輸送による輸送費の削減、農産物の痛みの防止等を図る。
	対象	農業生産者、道路利用者
事業内容	県が実施する広域農道の整備に対し、費用を負担する。 【市町村分担金負担割合：銚子市87.65%、旭市7.48%、東庄町4.87%】	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	23,903	23,459			20,700	2,759

事業の実績と成果	活動指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
			%	目標値		
				実績値		
				達成率		
			%	目標値		
				実績値		
				達成率		
			%	目標値		
				実績値		
				達成率		
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3	
()		%	目標値			
			実績値			
			達成率			
()		%	目標値			
			実績値			
			達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載						
道路工事（路体盛土）、舗装工事を県営事業で実施した。						

事業の検証	事業の課題	令和5年度には全線開通予定であるが、すでに老朽化している箇所もあり、今後の維持管理、また、その費用負担の増加が懸念される。				
	評価視点				総合評価	
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当		
	高い	高い	高い			
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)		
	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止	整備区間の1.3kmについて、事業完了年度の令和5年度の供用開始を目指して、関係団体と連携を図りながら全線開通を進める。
	皆減	縮小	現状維持	拡大		
コスト投入の方向性						

行政経営評価シート

事業ID	10601051326
------	-------------

事務事業名	広域営農団地農道管理経費（農村地域防災減災事業）	所管	農産課
-------	--------------------------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(2)-1 農業生産の基盤整備
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	国道・県道に並ぶ災害時の緊急輸送道路に位置付けられた重要路線である本広域農道が被災した場合、避難・救護活動や災害時の円滑な輸送に支障が生じる二次被害が想定されるため、計画的な維持管理を図る。
	対象	農業生産者、道路利用者
事業内容	本広域農道で、令和元年度に7号橋梁（平成21年完成）、令和4年度に8号橋梁（平成18年完成）の耐震性調査を実施し、耐震補強対策が必要とされた。このため、同じ耐震基準で同時期に建造された外2橋梁についても早期の耐震性調査を実施する。	

(単位: 千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	6,658	5,720	5,720			

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			目標値	
	%	実績値		
		達成率		
	%	目標値		
		実績値		
	%	達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値		
		実績値		
	%	達成率		
()	%	目標値		
		実績値		
	%	達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
8号橋梁（平成18年完成）の橋梁耐震性調査を実施した。				

事業の課題	令和6年度までに東総台地Ⅱ期地区の全4橋梁の耐震性調査が完了し、耐震補強対策が必要とされた場合、耐震化対策工事の予定が東総台地Ⅰ期地区終了後の令和14年度以降となるため、耐震化対策整備計画の策定期間の検討を要する。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当
	高い	高い	高い	
	今後の方向性			<p style="text-align: center;">総 評</p> <p style="text-align: center;">(今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)</p> <p>令和4年度は8号橋梁（平成18年完成）の橋梁耐震性調査を実施して耐震補強対策が必要とされたため、今後も現状の把握に努めるとともに橋梁の保全管理に資する。</p>
	成果の方向性	拡充		
現状維持			○	
縮小				
休廃止				
コスト投入の方向性				
	皆減	縮小	現状維持	拡大

行政経営評価シート

事業ID	10601040826
------	-------------

事務事業名	畜産関係経費	所管	農産課
-------	--------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(2)-2 畜産生産の基盤整備
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	一般管理経費
	対象	海匠地域畜産振興協会、千葉県畜産協会、銚子家畜防疫会
事業内容	畜産関係事業のための事務経費	

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	104	97					97

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			牛アカバネ・三種混合ワクチン接種(補助申請)頭数	頭
	%	実績値	287	227
		達成率	—	—
		目標値		
	%	実績値		
		達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値		
		実績値		
		達成率		
()	%	目標値		
		実績値		
		達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
各協会より、家畜関係事業促進のための助言・情報提供を受けることができた。また、ワクチン接種などの家畜防疫事業については、畜産協会及び家畜防疫会と県機関との連携体制が図れた。				

事業の課題	千葉県をはじめ各関係機関とは一定の連携が取れているものの、鳥インフルエンザや豚熱など様々な感染症のリスクがある中で、市では獣医などの専門職もおらず残念ながら家畜防疫体制が十分に整っているといった状態にはない。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当
	高い	高い	高い	
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 現在の事務を継続して行っていく。
	成果の方向性	拡充		
現状維持			○	
縮小				
休廃止				
コスト投入の方向性				
	皆減	縮小	現状維持	拡大

行政経営評価シート

事業ID	10601031126
------	-------------

事務事業名	有害鳥獣被害対策経費	所管	農産課
-------	------------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(2)-4 有害鳥獣被害対策の強化
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	有害鳥獣(カラス)による農作物被害の軽減
	対象	市内在住の農業従事者
事業内容	銃器による有害鳥獣の駆除	

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	612	612					612

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			有害鳥獣駆除実施日数	日
		実績値	121	39
	%	達成率	—	—
		目標値		
		実績値		
	%	達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
有害鳥獣駆除数 (カラス駆除件数)	羽	目標値	650	650
		実績値	621	418
	%	達成率	95.5	64.4
()	%	目標値		
		実績値		
		達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
有害鳥獣(カラス)被害の軽減に努め、農産物の被害防止を図った。				

事業の課題	夏季は有害鳥獣(カラス)による被害が多く確認されているため、特に注意する必要がある。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当
	高い	高い	高い	
	今後の方向性			<p style="text-align: center;">総 評</p> <p style="text-align: center;">(今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)</p> <p>地元猟友会に委託し、銃器による有害鳥獣の駆除・威嚇をすることにより一定の農作物被害の抑止効果が得られることから、引き続き事業を行っていく。</p>
	成果の方向性	拡充		
現状維持			○	
縮小				
休廃止				
	皆減	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

行政経営評価シート

事業ID	10601032926
------	-------------

事務事業名	有害鳥獣（イノシシ）被害対策経費	所管	農産課
-------	------------------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(2)-4 有害鳥獣被害対策の強化
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	防護柵、箱わな等を設置し、有害鳥獣からの農作物被害防止及び駆除
	対象	市内農業者等
事業内容	イノシシ等有害鳥獣による農作物に対する被害が拡大していることから、その被害防止及び駆除に取り組む。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	2,296	1,590		500			1,090

事業の実績と成果	活動指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
	有害獣防護柵設置事業補助申請件数		件	目標値	—	—
				実績値	11	18
			%	達成率	—	—
	有害獣駆除活動日数		日	目標値	50	50
				実績値	50	50
			%	達成率	100	100
			%	目標値		
				実績値		
				達成率		
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3	
有害獣駆除件数 (イノシシ捕獲頭数)		頭	目標値	—	—	
			実績値	91	79	
		%	達成率	—	—	
		%	目標値			
			実績値			
			達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載						
猟友会との連携によりイノシシの捕獲を行い、農作物被害の減少に寄与した。						

事業の検証	事業の課題	有害鳥獣の捕獲により個体数自体は減少していると思われるが、捕獲を止めてしまうと再び個体数が一気に増加する可能性がある。						
	評価視点				総合評価			
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当				
	高い	高い	高い					
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 今後も有害鳥獣被害は発生する可能性があるため、引き続き事業を行っていく。				
	成果の方向性	拡充						
現状維持							○	
縮小								
休廃止								
	皆減	縮小	現状維持	拡大				
コスト投入の方向性								

行政経営評価シート

事業ID	10601033926
------	-------------

事務事業名	経営継承・発展等支援事業経費	所管	農産課
-------	----------------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(2)-5 その他【農業振興】
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	農業経営を継承した後継者が、その経営を発展させるための経営発展計画に基づいて実施する取組を推進する。
	対象	先代事業者から農業経営主宰権の移譲を受けた後継者
事業内容	経営発展計画に基づいて実施する新しい品種・部門等の導入や省力化・業務の効率化、品質の向上、就業関係の改善などの取組に係る経費を補助する。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	2,962	2,962				1,981	981

事業の実績と成果	活動指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
	事業の実施 (省力化機械の導入、新しい試作品種の導入)		件	目標値	—	—
				実績値	3	2
			%	達成率	—	—
				目標値		
			%	実績値		
				達成率		
	事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
	()			目標値		
			%	実績値		
			達成率			
()			目標値			
		%	実績値			
			達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載						
それぞれの経営発展計画に基づいた省力化機械の導入や試作品等の導入を支援することにより、農業経営を継承した後継者の経営発展に寄与した。						

事業の検証	事業の課題	制度が開始されてからあまり時間が経っていないため、毎年、実施要領の改正があり、農業者からの要望があったとき、その都度、事業の実施要件に合致しているか、注意する必要がある。					
	評価視点				総合評価		
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当			
	高い	高い	高い				
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 現在の事務を継続して行っていく。			
	成果の方向性	拡充					
現状維持			○				
縮小							
休廃止							
	皆減	縮小	現状維持	拡大			
コスト投入の方向性							

行政経営評価シート

事業ID	10601050326
------	-------------

事務事業名	農地関係経費	所管	農産課
-------	--------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(2)-5 その他【農業振興】
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	基幹農業道路・水路の維持管理経費を市が負担することで、農業生産者の負担軽減を図り、地域農業の振興に寄与する。
	対象	農業生産者
事業内容	基幹農業道路・水路整備用資材購入及び整備をすることで農作物のいたみ防止や輸送費等の削減につなげる。また、高齢化、人口減少等により地域の共同活動により支えられている多面的機能に生じている支障を軽減する。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	13,289	13,131	72	1,488		11,571

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			水路補修件数	件
	%	達成率	—	—
農道補修件数	件	目標値 実績値	— 5	— 2
	%	達成率	—	—
災害復旧件数	件	目標値 実績値	— 0	— 16
	%	達成率	—	—
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値 実績値		
		達成率		
()	%	目標値 実績値		
		達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
路側防災工事、基幹農業道路用・水路整備用資材購入及び整備を実施した。また、多面的機能支払交付金で地域資源の基礎的な保全活動（水路の草刈・泥上げ・農道の路面維持など）を実施した。				

事業の課題	台風やゲリラ豪雨による災害対応の管理経費が増加傾向にある。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当
	高い	高い	高い	
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 大雨の影響による被災状況確認のための巡回・パトロールを進め、被害状況の把握に努め、対処する。また、地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進する。
	成果の方向性	拡充		
現状維持			○	
縮小				
休止				
コスト投入の方向性				
	皆減	縮小	現状維持	拡大

行政経営評価シート

事業ID	10701020124
------	-------------

事務事業名	中小企業金融対策経費	所管	産業振興室
-------	------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(3)-1 地域資源を活用した産業連携の推進
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	市内の中小企業等の経営安定化
	対象	市内の中小企業等
事業内容	市内の中小企業等が金融機関から事業に必要な資金を借入れした際に利子補給を行い、金利負担を軽減することにより、経営の安定と産業の振興を図り、併せて雇用の安定に寄与する。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	209,677	205,093				200,022	5,071

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			目標値	—
中小企業金融対策資金預託金	千円	実績値	200,000	200,000
	%	達成率	—	—
中小企業資金融資利子補給金	件	目標値	200	200
	%	実績値	90	100
		達成率	45	50
		目標値		
		実績値		
	%	達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値		
		実績値		
()	%	目標値		
		実績値		
()	%	目標値		
		実績値		
()	%	目標値		
		実績値		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
市内中小企業の経営の安定と産業の振興を図り、併せて雇用の安定に寄与するため、制度融資による資金調達支援と利子補給を行っている。				

事業の課題	利子補給の利子補給率が数年固定されたままとなっている。今後、利率の上昇なども考えられる中で、事業効果をも高めるためにも利率の変動に合わせた利子補給率の設定の検討が必要になっている。				
	評価視点				総合評価
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当	
	高い	高い	高い		
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)	
成果の方向性	拡充				新型コロナ関連の実質無利子の県制度融資へと借り換える事例もあり、市の制度融資の利用件数は減少しているが、新型コロナウイルスの影響が落ち着いてきたことで、新型コロナ関連の県制度融資も縮小・廃止されることが想定されるため、市内事業者や金融機関に既に浸透している市の制度融資については、経営安定化のための資金調達支援として今後も事業を継続していく必要がある。
	現状維持		○		
縮小					
休廃止					
	皆減	縮小	現状維持	拡大	
コスト投入の方向性					

行政経営評価シート

事業ID	10701024024
------	-------------

事務事業名	ワーケーション推進経費	所管	産業振興室
-------	-------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(3)-1地域資源を活用した産業連携の推進
	関連計画	○ : 総合戦略 — : その他 (—)
	目的	ワーケーションをきっかけに市内の宿泊施設や空き家等を活用する長期滞在者を増加させる。
	対象	ワーケーションを行う企業、個人及びワーケーションによる誘客を行おうとする市内事業者
	事業内容	令和2年度からは、企業版ふるさと納税として信金中央金庫からの寄附を財源としたしごと・ひと・まち創生推進基金を活用し、ワーケーションのモニターツアーや情報発信などのPR事業などを行うワーケーション推進業務を実施している。

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	7,700	6,930	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
						6,930	

事業の実績と成果	活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
	ワーケーションモニターツアーの実施回数		回	目標値	6
			実績値	5	—
		%	達成率	83.4	—
			目標値		
			実績値		
		%	達成率		
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
ワーケーションによる2泊以上の長期滞在者 ()		人泊	目標値	300	200
			実績値	308	200
		%	達成率	102.7	100
()			目標値		
			実績値		
		%	達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					

事業の検証	事業の課題	事業の対象が一部に限られることから、事業に対する市民の理解、周知につなげていない。広く情報発信をすることで、費用負担に対する市民の理解を得る必要がある。				
	評価視点			総合評価		
	必要性	有効性	効率性	C:事業規模・内容・主体の見直しを検討		
	高い	高い	高い			
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)		
成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休止	中止	ワーケーションモニターツアー参加者がSNSで情報発信することにより、銚子市でのワーケーションの魅力を一定程度広めることができた。また、参加者の生の声を通して、銚子市でのワーケーションの課題も確認できた。今後は、徐々にワーケーションとして誘客を行える企業向けの視察研修メニューや体験型のふるさと納税返礼品としての商品づくりを市内事業者自らが進めていく。
	皆減	縮小	現状維持	拡大		
コスト投入の方向性						

行政経営評価シート

事業ID	10701024224
------	-------------

事務事業名	地域力創造アドバイザー事業経費	所管	産業振興室
-------	-----------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(3)-1地域資源を活用した産業連携の推進
	関連計画	○ : 総合戦略 — : その他 (—)
	目的	地域活性化の取組に関する知見やノウハウを有する外部専門家を招聘し、地域独自の魅力や価値の向上に取り組む。
	対象	起業家、市内事業者
	事業内容	総務省地域力創造アドバイザーを招聘し、起業家支援を通じた地域資源の活用やインバウンド事業の促進、ふるさと納税による地域産品の販路拡大を図る。

(単位: 千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	4,600	4,600	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
							4,600

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
起業家支援 (セミナー・個別支援など)	回	目標値	10	11
		実績値	12	11
	%	達成率	120	100
インバウンド事業支援 (セミナー・ワークショップなど)	回	目標値	4	—
		実績値	7	—
	%	達成率	175	—
ふるさと納税支援 (セミナー・ワークショップなど)	回	目標値	4	—
		実績値	18	—
	%	達成率	450	—
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
()		目標値		
		実績値		
	%	達成率		
()		目標値		
		実績値		
	%	達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
①起業家支援：起業希望者に対するセミナーや個別支援の実施により、新事業創出のサポートを実施した。 ②インバウンド支援：新たな誘客コンテンツ（寿司握り体験）の商品化とインバウンド客の増加を図るため、ワークショップを開催するとともに、体験ツアーも併せて実施した。 ③ふるさと納税支援：事業者や行政によるワークショップを実施し、ふるさと納税増収に向けた取組の方向性を確認した。				

事業の課題	対象者が一部であり事業活動の周知が不十分である。事業活動を広く市民に周知する方法を検討する必要がある。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当
	高い	高い	高い	
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 総務省の地域力創造アドバイザー制度は、最大3年間活用できるため、令和5年度末まで同制度を活用して、起業家支援、インバウンド推進支援及びふるさと納税支援の事業を進めていく。
	成果の方向性	拡充		
現状維持			○	
縮小				
休廃止				
コスト投入の方向性				
	皆減	縮小	現状維持	拡大

行政経営評価シート

事業ID	10701022124
------	-------------

事務事業名	創業支援事業経費	所管	産業振興室
-------	----------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(3)-3 担い手の確保と創業支援体制の充実
	関連計画	○ : 総合戦略 — : その他 (—)
	目的	起業・創業・事業承継を円滑に支援する。
	対象	市内で新たな事業を検討している方、創業間もない方、事業承継・第二創業を検討している方など
	事業内容	商工会議所、金融機関、大学及び各種支援団体と連携して、市内で起業・創業・第二創業等を行おうとする方を対象として、創業スクールや各種セミナーを開催するほか、個別相談・支援を行う。市内に新たな事業を起こす機運を醸成することで、民間投資を喚起し、地域経済の活性化を図る。

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	150	141	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
						141	

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3	
			創業スクール及び各種セミナーの開催数	回	目標値 実績値
	%	達成率	100	100	
		目標値 実績値			
	%	達成率			
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
創業スクール受講者数		人	目標値 実績値	30 18	30 15
()	%	達成率	60	50	
		目標値 実績値			
()	%	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					

事業の課題	市内での創業者数や創業後の事業継続などの実態を把握し、また、これを周知、成功例をPRすることで次の創業につなげる必要がある。また、他市で創業するケースなども多くあり、広域的な取組につなげる必要も感じている。					
事業の検証	評価視点			総合評価		
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当		
	高い	高い	高い			
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 新型コロナウイルスの流行を契機とした業態転換や新規事業の立ち上げを検討する事業者及び起業家からのニーズも見込まれ、創業スクールは継続して開催していく必要がある。		
	成果の方向性	拡充	現状維持			縮小
○						
皆減		縮小	現状維持			拡大
コスト投入の方向性						

行政経営評価シート

事業ID	10701023024
------	-------------

事務事業名	地域おこし協力隊事業経費（起業型）	所管	産業振興室
-------	-------------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(3)-3 担い手の確保と創業支援体制の充実
	関連計画	○：総合戦略 —：その他（—）
	目的	新たな人の流れをつくるため、都市部の人材を地域おこし協力隊として委嘱し、移住してもらう。隊員には、地域課題の解決や地域資源の活用につながる地域活動に従事する。任期終了後も本市に定住してもらうことを目指す。
	対象	地域おこし協力隊制度における地域要件の対象となる都市部の人材
	事業内容	各隊員がそれぞれ解決したい地域課題や活用したい地域資源を設定し、地域おこし活動や人材交流、各種スキルアップ等の起業準備を行う。（最大3年間）

（単位：千円）

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	9,600	9,217	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
							9,217

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3	
			地域おこし協力隊員数（起業型）	人	目標値 実績値
	%	達成率	100	100	
		目標値 実績値			
	%	達成率			
		目標値 実績値			
	%	達成率			
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
()			目標値 実績値		
()	%	達成率			
()			目標値 実績値		
()	%	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					
よそ者として移住してくる協力隊が孤立せず地域に入り込めるかというのが一つの課題であったが、コロナ禍という厳しい状況にも関わらず、市民や市内事業者との交流が増え、起業に向けて活動を進めることができています。隊員は、SNSを活用した銚子市の魅力や情報の発信、地域活動への参加、銚子電鉄との連携などの活動を継続することで地域課題の解決を図った。					

事業の課題	地域おこし協力隊の活動状況が分からない、見えないといった声が寄せられることもあるため、より多くの方に地域おこし協力隊の活動を知っていただけるよう、時間をかけた有効な情報発信が求められる。				
事業の検証	評価視点			総合評価	
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当	
	高い	高い	高い		
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)	
	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止
	皆減	縮小	現状維持	拡大	
コスト投入の方向性					

行政経営評価シート

事業ID	10501010624
------	-------------

事務事業名	勤労コミュニティセンター管理経費	所管	産業振興室
-------	------------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(3)-4 その他
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	勤労者の文化、教養、福利厚生の上をを図るとともに、市民のコミュニティ活動を推進する。
	対象	市内一円の勤労者、近隣住民等
事業内容	市内一円の勤労者の福祉と併せて近隣住民の利便に供する共同施設として設置された勤労コミュニティセンターを活用し、勤労者の文化、教養、福利厚生の上をを図るとともに、市民のコミュニティ活動の推進に寄与する。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	2,343	2,306				1,011	1,295

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3	
			利用回数	回	目標値
	%	実績値	866	700	
		達成率	108.3	87.5	
利用者数	人	目標値	19,000	19,000	
	%	実績値	20,817	15,846	
		達成率	109.6	83.4	
	%	目標値			
		実績値			
		達成率			
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
()			目標値		
	%		実績値		
			達成率		
()			目標値		
	%		実績値		
			達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					
新型コロナウイルスの影響が落ち着き、コロナ禍前のように、当該施設においてコミュニティ活動等が展開された。					

事業の検証	事業の課題	勤労者に限らず地域住民のコミュニティ活動の場としても利用されており、比較的利用率は高いが、2階のホールまでは階段の利用が必要で、出入り口も段差がありバリアフリーの施設にはなっていない。災害時には、自主避難所として利用されるケースも多く、今後の施設の在り方については十分に検討が必要である。				
	評価視点				総合評価	
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当		
	高い	高い	やや高い			
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)		
	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止	新型コロナウイルスの影響も落ち着き、利用回数及び人数は回復してきたので、今後も利用者にとってより良い環境づくりに取り組んでいく。
	皆減	縮小	現状維持	拡大		
コスト投入の方向性						

行政経営評価シート

事業ID	10701040223
------	-------------

事務事業名	海水浴場関係経費	所管	観光プロモーション室
-------	----------	----	------------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(4)-2 多様な地域資源の活用
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	安心・安全に楽しめるよう、遊泳禁止等の看板及び危険等を知らせる放送設備等を設置する。また、ライフセーバーを配置し、水難事故等の防止及び利用者の利便性を図るため、仮設トイレ、シャワー等を設置する。
	対象	海水浴客
事業内容	夏期の銚子観光の中心となる海水浴場の開設に係る施設の整備及び管理	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	8,516	8,514	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
							8,514

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3	
			海水浴場の開設（監視業務）日数	日	目標値 実績値
	%	達成率	100	—	
海水浴場の開設箇所	箇所	目標値 実績値	3 3	3 —	
	%	達成率	100	—	
監視人数	件	目標値 実績値	320 320	320 —	
	%	達成率	100	—	
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
海水浴場3か所における水難事故発生件数 (安全快適な海水浴場の開設)	件	目標値 実績値	— 0	—	—
	%	達成率	—	—	—
			目標値 実績値		
	%	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					
令和4年度は、3年ぶりに市内の海水浴場3か所（海鹿島・長崎・銚子マリナ）を開設した。海水浴客数は令和元年度に比べ約11%増加した。令和元年度に比べると、7月は約71%増加、8月は台風8号や市内での新型コロナウイルス感染拡大の影響で約10%減少した。					

事業の課題	物価高騰や人件費の増に伴う事業費の増加					
事業の検証	評価視点				総合評価	
	必要性	有効性	効率性	B: 事業の進め方の改善の検討		
	高い	やや高い	やや低い			
	今後の方向性				総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)	
	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休止	海水浴場開設は、市内の宿泊者数・観光入込客数にも寄与していると考えられる。観光客はもちろん市民にも毎年、海水浴場開設を楽しみにしている人が一定数いる。一方、安心安全な海水浴場開設のために欠かせないライフセーバーは、近年人員不足となっており、他自治体では人員を確保できないために海水浴場を開設できないケースも増えている。事業存続のためには高騰する人件費にも対応していかなければならない。
	皆減	縮小	現状維持	拡大		
コスト投入の方向性						

行政経営評価シート

事業ID	10701040723
------	-------------

事務事業名	初日の出関係経費	所管	観光プロモーション室
-------	----------	----	------------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(4)-2 多様な地域資源の活用
	関連計画	○ : 総合戦略 — : その他 (—)
	目的	事故防止のため交通規制を行い、交通規制マップの作成及び案内看板を設置する。また、深夜から大勢の初日の出客が訪れるため、駐車場へ投光機やトイレを配備し利便性を図る。
	対象	初日の出客
	事業内容	日本一早い初日の出を見に多くの観光客が訪れ、その観光客の利便性の向上を図るため、臨時駐車場や仮設トイレ等を設置するとともに、安全性を確保するため、警備員を配置する。

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	2,377	2,315	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
						15	2,300

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
初日の出交通規制マップの作成	部	目標値	—	—
		実績値	20,000	15,000
	%	達成率	—	—
初日の出人員配置数	人	目標値	—	—
		実績値	76	74
	%	達成率	—	—
交通規制時間	時間	目標値	7	7
		実績値	7	7
	%	達成率	100	100
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
初日の出入込客数 (元旦の犬吠埼周辺における入込客数)	人	目標値	50,000	50,000
		実績値	58,000	59,000
	%	達成率	116	118
犬吠埼周辺での事故件数 (初日の出客の事故件数)	人	目標値	—	—
		実績値	0	0
	%	達成率	—	—
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
<p>新型コロナによる外出抑制が解除されて初めての初日の出入込客数は昨年とさほど変わらなかったが、屋外で、年一回の自然現象の観察ということもあり、コロナの影響によらず毎年犬吠埼周辺は激しい交通渋滞が発生する。交通規制による初日の出客や地元住民の安全な通行の確保は必要である。</p>				

事業の課題	業務委託する警備員数を増加する必要があると同時に人件費の高騰にも対応する必要がある。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	C:事業規模・内容・主体の見直しを検討
	高い	高い	高い	
	今後の方向性			<p>総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)</p> <p>交通規制は、市の業務委託による警備員のほか、銚子警察署及び銚子交通安全協会、銚子市観光協会の方々の協力を得て、市からは観光商工課・水産課・農産課・都市整備課の職員が従事したが、年々市職員や交通安全協会の人員が減少してきており、業務委託する警備員数を増加する必要がある。</p>
	成果の方向性	拡充	現状維持	
	縮小	休廃止		
	皆減	縮小	現状維持	
コスト投入の方向性				

行政経営評価シート

事業ID	10701020224
------	-------------

事務事業名	みなとまつり関係経費	所管	産業振興室
-------	------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(4)-2 多様な地域資源の活用
	関連計画	○ : 総合戦略 — : その他 (—)
	目的	銚子市の夏を代表する一大イベントである「銚子みなとまつり」の開催を支援し、地域の活性化、祭りの伝統及びその魅力の承継を推進する。
	対象	市民、観光客及び市内事業者
	事業内容	例年8月の第1土曜日に花火大会、日曜日にみこしパレードを実施している。市内外から多くの観覧者が訪れ、特に花火大会は本市最大級のイベントとして広く認知されている。令和2年度以降は新型コロナウイルスの影響により中止が続いており、令和4年度も代替行事として銚子マリナー海水浴場周辺での開催を試みたが、悪天候により中止となった。

(単位: 千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	10,000	1,581	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
						1,581	

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			目標値	
	%	実績値		
		達成率		
	%	目標値		
		実績値		
	%	達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値		
		実績値		
	%	達成率		
()	%	目標値		
		実績値		
	%	達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
令和4年度は夏のみなとまつりの代替行事として、11月に千葉科学大学の学園祭との共同で、花火大会を規模縮小（打上げ数550発）して開催を試みたが、当日悪天候により中止となった。決算額の1,581千円は会場設営や興行中止保険料の支払いなど、代替行事の準備に要した費用である。				

事業の課題	昨今の物価や人件費の高騰により、みなとまつり開催に要する経費の増加が見込まれる。また、全国的にもイベントでの事故などが多く、警察からもイベントにおける警備体制の強化が求められている。今後、安心・安全に開催を継続していくためには、警備費用等の財源を確保することは大きな課題の一つである。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討
	高い	低い	低い	
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 有料観覧エリアやメッセージ花火での収益増加や、商工会議所と連携し協賛企業に協力を積極的に要請することで財源の確保や機運の醸成に努め、代替案のような規模ではなく、例年通りのみなとまつりを開催していけるよう進めていく。
	成果の方向性	拡充	現状維持	
	縮小	休廃止		
	皆減	縮小	現状維持	
	コスト投入の方向性			

行政経営評価シート

事業ID	10701024124
------	-------------

事務事業名	地域おこし協力隊事業経費（魅力発信）	所管	産業振興室
-------	--------------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(4)-2 多様な地域資源の活用
	関連計画	○：総合戦略 —：その他（ — ）
	目的	新たな人の流れをつくるため、都市部の人材を地域おこし協力隊として委嘱し、移住してもらう。隊員は、地域課題の解決や地域資源の活用につながる地域活動に従事する。任期終了後も本市に定住してもらうことを目指す。
	対象	地域おこし協力隊制度における地域要件の対象となる都市部の人材
	事業内容	地域おこし協力隊員が委嘱前の経験やキャリアを活かし、銚子の魅力発信と地域のおもてなし力の向上を図る取組を実施する。

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	8,247	4,957	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
							4,957

事業の実績と成果	活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
	地域おこし協力隊員数（魅力発信）	人	%	目標値	2
実績値				2	—
達成率				100	—
%		目標値			
		実績値			
		達成率			
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値			
		実績値			
		達成率			
()	%	目標値			
		実績値			
		達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					
銚子市内で高い情報発信力を誇る銚子電鉄と連携した取組を活かし、銚子市の魅力発信に努めた。また、銚子市の産品、特に食に関する情報発信を通して、銚子市の魅力発信を図った。					

事業の検証	事業の課題	地域おこし協力隊の活動状況が分からない、見えないといった声が寄せられることもあるため、より多くの方々に地域おこし協力隊の活動を知っていただけるよう、時間をかけた有効な情報発信が求められる。						
	評価視点				総合評価			
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当				
	高い	高い	高い					
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 地域おこし協力隊員と市民や市内各種団体との連携を強化しながら、引き続き銚子市の魅力発信に取り組んでいく。				
	成果の方向性	拡充						
現状維持			○					
縮小								
休廃止								
			皆減	縮小	現状維持	拡大		
			コスト投入の方向性					

行政経営評価シート

事業ID	10701040423
------	-------------

事務事業名	観光宣伝経費	所管	観光プロモーション室
-------	--------	----	------------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(4)-3 戦略的なプロモーションの推進
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	地域の魅力に磨きをかけ、域外にその魅力を発信し、観光・交流を広げ、観光振興を図る。
	対象	観光客
事業内容	積極的な観光宣伝や観光PRを図るため、観光パンフレットや観光マップ等の観光宣伝ツールを作成する。	

(単位: 千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	1,977	1,943	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
						1,943	

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			観光パンフレット作成数	部
	%	達成率	245	0
観光マップ「銚子散歩」作成数	部	目標値 実績値	— 0	3,000 0
	%	達成率	—	0
郷土芸能の提供回数	千人	目標値 実績値	— 0	— 0
	%	達成率	—	—
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
観光入込客数(暦年)	千人	目標値 実績値	2,888 1,958	2,888 1,748
	(銚子市を訪れた観光客の数(暦年で算出))	%	達成率	67.8
()	%	目標値 実績値		
()	%	達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動制限はなくなったものの、昨年に引き続きイベントが開催されない状況が続いたため、郷土芸能を提供する機会がなかった。観光パンフレットと観光ポスターをリニューアルし、市内外に配布するなど観光PRに努めた。				

事業の検証	事業の課題	文学碑説明板の老朽化に対する修繕が必要である。				
	評価視点			総合評価		
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当		
	高い	高い	高い			
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 新型コロナウイルスの影響で観光客が以前のレベルまでは、戻らない状況が続いているため、アフターコロナを見据えて積極的に銚子の魅力を発信していく必要がある。		
	成果の方向性	拡充				
現状維持						
縮小						
休廃止						
			皆減	縮小	現状維持	拡大
			コスト投入の方向性			

行政経営評価シート

事業ID	10701040123
------	-------------

事務事業名	地球の丸く見える丘展望館及びポートタワー管理経費	所管	観光プロモーション室
-------	--------------------------	----	------------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(4)-5 何度も訪れたくなる魅力的な観光地づくり
	関連計画	○ : 総合戦略 — : その他 (—)
	目的	観光の拠点となる地球の丸く見える丘展望館及びポートタワーの所有者・管理者として適切に管理運営していくために建物総合損害共済保険に加入し、必要に応じて修繕等を行うほか、指定管理委託料を支出し、施設管理の充実を図る。
	対象	観光客
	事業内容	本市の観光振興のため、展望館及び銚子ポートタワーの施設の点検、修繕、設備の修理並びに入替等施設の維持管理に関する事業、建物総合損害共済分担金の負担などとともに、指定管理によりサービスの増進と管理運営の効率化を図る。

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	7,218	7,217	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
							7,217

事業の実績と成果	活動指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
	営業日数 (地球の丸く見える丘展望館)		日	目標値	365	365
				実績値	365	363
			%	達成率	100	99.5
	営業日数 (銚子ポートタワー)		日	目標値	316	313
				実績値	319	319
			%	達成率	100.9	101.9
	企画展・誘客イベント実施回数 (展望館)		回	目標値	10	10
				実績値	10	8
			%	達成率	100	80
	事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
	入館者数 (地球の丸く見える丘展望館)	(地球の丸く見える丘展望館の1日あたり入館者数)	人	目標値	195	—
				実績値	201	179
			%	達成率	103.1	—
	入館者数 (銚子ポートタワー)	(銚子ポートタワーの1日あたり入館者数)	人	目標値	127	—
			実績値	163	131	
%			達成率	128.4	—	
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載						
令和3年度に比べ展望館は約12%、ポートタワーは約24%入館者が増加した。両施設での入館者の増加は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための行動制限が緩和されたためと考えられる。加えて、ポートタワーでは「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」に認定されたことによるアニメ「アマガミSS」関連の展示などが入館者増加に貢献した。						

事業の検証	事業の課題	誘客に向けた経営努力				
	評価視点				総合評価	
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当		
	高い	高い	高い			
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)		
	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休止	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための行動制限が緩和され入館者が増加したが、海外も含めた多様な旅行先の選択肢がある中で、選ばれる観光地となるよう、引き続き誘客に向けたイベントの開催や喫茶店等の売上を改善するなど更なる経営努力が必要となる。
	皆減	縮小	現状維持	拡大		
コスト投入の方向性						

行政経営評価シート

事業ID	10701040323
------	-------------

事務事業名	観光協会関係経費	所管	観光プロモーション室
-------	----------	----	------------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(4)-5 何度も訪れたくなる魅力的な観光地づくり
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	観光客の増加を図るとともに、滞在時間の長期化、宿泊の促進等により交流人口の増加を目指し、地域の活性化を図る。
	対象	銚子市観光協会
事業内容	観光案内所の運営、観光宣伝の実施、観光客誘致促進等を実施し、銚子観光にとって重要な役割を果たしている銚子市観光協会への業務委託	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	7,733	7,733	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
							7,733

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			観光客の案内人数	人
	%	実績値	17,093	12,550
		達成率	85.5	62.8
外国人観光客の案内人数	人	目標値	1,000	1,000
	%	実績値	492	259
		達成率	49.2	25.9
		目標値		
		実績値		
	%	達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
観光入込客数(暦年)	千人	目標値	2,888	2,888
		実績値	1,958	1,748
(銚子市を訪れた観光客の数(暦年で算出))	%	達成率	67.8	60.6
外国人宿泊客数(暦年)	人	目標値	10,375	10,375
		実績値	1,291	117
(銚子市を訪れた外国人の宿泊数(暦年で算出))	%	達成率	12.5	1.2
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
新型コロナウイルスの影響による行動制限は解除されたものの、コロナ禍以前までは観光客が戻っていない。				

事業の課題	人件費等の高騰に対応していく必要がある。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当
	高い	高い	高い	
	今後の方向性			<p>総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)</p> <p>観光客の多様なニーズに対応し、魅力的な情報発信をしていくためには、観光案内所の運営は欠かせないものであるが、銚子を訪れた方に再訪してもらえるよう更なる取組みが必要である。インバウンドの需要にも応える必要がある。</p>
	成果の方向性	拡充		
現状維持			○	
縮小				
休業止				
	皆減	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

行政経営評価シート

事業ID	10701041523
------	-------------

事務事業名	犬吠埼霧信号所関係経費	所管	観光プロモーション室
-------	-------------	----	------------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(4)-5 何度も訪れたくなる魅力的な観光地づくり
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	国有財産である旧犬吠埼霧信号所等の一部を借り受け、公益社団法人燈光会と協力し歴史的な価値を保存しつつ、観光資源としての魅力を高め、地域の活性化を図る。
	対象	観光客
事業内容	平成21年度で廃止された旧犬吠埼霧信号所は、調査で官営八幡製鉄所で生産された国産の鋼材を用いた現存最古の建築物のひとつである可能性が高く、学術的、歴史的に極めて貴重なものであり、銚子市で霧信号所の土地、建物を借上げている。	

(単位: 千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	213	212				212	

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			犬吠埼灯台の参観者数 (暦年で算出)	人
	%	達成率	108.9	61.4
		目標値 実績値		
	%	達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値 実績値		
()	%	達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
新型コロナウイルスの影響を受け、昨年度より観光客数が減少しているが、国の重要文化財に指定されたことで観光資源としての魅力は高まっている。				

事業の課題	事業主体の見直し			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討
	低い	高い	やや高い	
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)
	成果の方向性	拡充		
現状維持				
縮小		○		
休廃止				
コスト投入の方向性			霧笛舎は、用途廃止後は燈光会が資料展示室として使用している。用途廃止当時は、海上保安庁が一事業者に直接施設を貸すことは差し支えるとのことで、市が借りるという形をとった。その後、燈光会が灯台の協力団体になり、霧笛舎とは別に灯台敷地内の元官舎の一部を改修し新たな展示室として運用している。今後、霧笛舎も実態に合わせて燈光会が直接使用申請できないか、燈光会及び海上保安庁と協議を進める。	

行政経営評価シート

事業ID	10701040623
------	-------------

事務事業名	観光振興経費	所管	観光プロモーション室
-------	--------	----	------------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(4)-6 その他【観光振興】
	関連計画	○ : 総合戦略 — : その他 (—)
	目的	観光施設の受入態勢の整備等により地域の魅力の向上を図る。また、銚子市が観光関係団体に加盟し、広域観光としての連携により、更なる観光振興の促進を図る。
	対象	観光客及び観光関連団体
	事業内容	観光地の美化、公衆トイレの維持管理及び観光客用仮設トイレの借上、観光施設等の維持管理及び関係団体への負担金の支出、観光振興に関する様々な施策を実施する。

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	2,282	2,238	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
				433		34	1,771

事業の実績と成果	活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
	負担金支出団体数	団体	目標値	—	—
			実績値	6	6
		%	達成率	—	—
			目標値		
			実績値		
		%	達成率		
		千人	目標値		
			実績値		
		%	達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3	
観光入込客数（暦年） （銚子市を訪れた観光客の数（暦年で算出））	千人	目標値	2,888	2,888	
		実績値	1,958	1,748	
	%	達成率	67.8	60.6	
		目標値			
		実績値			
	%	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					
観光関係団体（千葉県観光物産協会・ちばプロモーション協議会・千葉県国際観光推進協議会等）との連携を図った。					

事業の検証	事業の課題	効果的な観光振興のため、増加する経費への対応				
	評価視点				総合評価	
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当		
	高い	高い	高い			
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)		
	成果の方向性	拡充				各団体との連携に係る経費や観光施設の光熱水費といった固定的な費用だけでなく、今後観光案内看板や標識といった観光施設の老朽化、劣化に対する修繕費が必要になってくると考えられる。
現状維持						
縮小						
休廃止						
	皆減	縮小	現状維持	拡大		
コスト投入の方向性						

行政経営評価シート

事業ID	10201090724
------	-------------

事務事業名	行政サービスコーナー管理経費	所管	産業振興室
-------	----------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(4)-6その他
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	多くの人が訪れるイオン内に設置した行政サービスコーナーを情報提供の場として、観光地や中心市街地への人の流れをつくる。
	対象	観光地や中心市街地の商店街等の活性化のため、イオンへの来店者を対象として誘導する。
事業内容	イオン内の「しおさいプラザ」においてポスター掲示やイベントを行うことで、市内の様々な情報提供や来店各種団体等のPRの場として活用している。	

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	2,727	2,726	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
							2,726

事業の実績と成果	活動指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
	行政サービスコーナー利用実績		回	目標値	30	50
				実績値	26	20
			%	達成率	86	40
				目標値		
			%	実績値		
			%	達成率		
	事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
	()			目標値		
			%	実績値		
		%	達成率			
()			目標値			
		%	実績値			
		%	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載						
中心市街地の商店街等への新たな人の流れづくりを促進する取組のひとつとして、ポスター掲示等の場を利用している。						

事業の検証	事業の課題	行政サービスコーナーは、ポスター掲示による利用が多いので、今後は、イベントや展示会等の利用を増加させていくことが必要となる。				
	評価視点				総合評価	
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当		
	やや高い	高い	やや高い			
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)		
	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止	PRの場として市民から一定のニーズがあるため、引き続きしおさいプラザの運営を継続していく。また、より有効な利活用方法について引き続き検討していく。
皆減		縮小	現状維持	拡大		
コスト投入の方向性						

行政経営評価シート

事業ID	10201086704
------	-------------

事務事業名	ゼロカーボンシティ推進経費	所管	洋上風力推進室
-------	---------------	----	---------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(5)-1再生可能エネルギーの地産地消の推進
	関連計画	○ : 総合戦略 — : その他 (—)
	目的	2050年までに二酸化炭素 (CO2) 排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の実現
	対象	市民、市内企業
	事業内容	「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、地域における再エネポテンシャルや将来のエネルギー消費量などを踏まえつつ、地域の特性に応じた再エネの導入目標計画などを定めたゼロカーボンビジョンを策定する。策定後は、計画に基づいた脱炭素化に資する事業を検討・実行する。

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	10,056	9,991	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			2,497			7,491	3

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
ゼロカーボンビジョンの策定	一式 %	目標値	年度内策定	—
		実績値	策定済	—
		達成率	—	—
	%	目標値		
		実績値		
		達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
		目標値		
		実績値		
()	%	達成率		
()	%	達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
2050年のゼロカーボンシティの実現に向け、令和5年3月、地域特性を活かした風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入拡大や省エネの取組を推進するための施策を盛り込んだ「銚子市ゼロカーボンビジョン」を策定した。				

事業の課題	<p>今後はゼロカーボンビジョンで定めた再エネ導入目標に基づき、地域の脱炭素化につながる事業を進める必要があることから、専門的な知見を有する人材や企業の活用・連携のほか国や県の政策との連携が求められる。</p>				
事業の検証	評価視点			総合評価	
	必要性	有効性	効率性	B:事業の進め方の改善の検討	
	やや高い	やや高い	やや高い		
	今後の方向性			<p>総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)</p> <p>公共施設や民間への太陽光発電や蓄電池の導入のほか、銚子電力株式会社と連携した再生可能エネルギーの地産地消の促進、建物の省エネ化などゼロカーボンビジョンに基づく取組を推進する。また、ゼロカーボンビジョンや地球温暖化対策実行計画に基づく取組の推進や進捗管理、見直しなどに関してモニタリング・助言を行う組織として、市内関係団体や有識者から組織する協議会の設置を検討する。</p>	
	成果の方向性	拡充	現状維持		縮小
	○				
	削減	縮小	現状維持		拡大
	コスト投入の方向性				

行政経営評価シート

事業ID	10201086904
------	-------------

事務事業名	地域おこし協力隊事業経費（地域再エネ活用）	所管	洋上風力推進室
-------	-----------------------	----	---------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(5)-1再生可能エネルギーの地産地消の推進
	関連計画	○：総合戦略 —：その他（—）
	目的	本市への新たな人の流れをつくるため、都市部の人材を地域おこし協力隊として委嘱し、移住してもらう。隊員は、地域課題の解決や地域資源の活用につながる地域活動に従事する。任期終了後も本市に定住してもらうことを目指す。
	対象	地域おこし協力隊制度の地域要件対象となる都市部の人材
	事業内容	洋上風力発電や地域新電力に関わる事業者などと連携を図り、再生可能エネルギーの活用を通じた持続可能なまちづくりの推進に貢献できる地域おこし協力隊を委嘱する。なお、財源は一般財源となっているものの全額地方交付税（特別交付税）で措置される。

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	9,600	4,724					4,724

事業の実績と成果	活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
	地域おこし協力隊員数（地域再エネ活用）	人	目標値	2	—
実績値			1	—	
%		達成率	50	—	
%		目標値			
		実績値			
達成率					
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値			
		実績値			
達成率					
()	%	目標値			
		実績値			
達成率					
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					
令和4年4月5日付で、隊員1名を委嘱し、銚子市沖洋上風力発電事業の将来的にメンテナンスを担う企業の運営に関わるとともに、地域活性化や地域産業の振興に取り組んだ。					

事業の課題	ゼロカーボンシティ銚子の実現に向け、風力発電や太陽光発電などの地域の再エネを活用した地域の脱炭素化につながる事業を進めていく予定であり、専門的な知見を有する人材や関係企業の活用・連携が求められる。					
事業の検証	評価視点			総合評価		
	必要性	有効性	効率性	B:事業の進め方の改善の検討		
	やや高い	やや高い	やや高い			
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)		
	成果の方向性	拡充				
現状維持						
縮小						
休廃止						
コスト投入の方向性			隊員は、地域に定着し、銚子市沖洋上風力発電事業に関わるメンテナンス企業の運営体制の構築に取り組んでいる。再生可能エネルギーの活用を通じた持続可能なまちづくりの推進のため、今後、洋上風力発電や地域新電力に関わる地域おこし協力隊（地域再エネ活用）の増員を検討する。			
皆減	縮小	現状維持			拡大	

行政経営評価シート

事業ID	10201085504
------	-------------

事務事業名	洋上風力推進経費	所管	洋上風力推進室
-------	----------	----	---------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(5)-2 洋上風力発電施設の誘致
	関連計画	○ : 総合戦略 — : その他 (—)
	目的	漁業と共生する洋上風力発電施設の誘致を実現し、洋上風力発電施設の整備に伴う雇用、税収、交流人口増加などによる地域経済の活性化を目指す。
	対象	国、県、漁業者、商工業者、観光事業者、市民、発電事業者
	事業内容	漁業者や商工業者、発電事業者らと連携の上、漁業との共存・共栄を具現化し、漁業振興、産業振興、経済発展につなげる具体的な施策を検討するとともに、市民向け説明会の開催などにより市民の理解促進に努め、認知度の向上を図る。

(単位: 千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	638	196	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
						1	195

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3	
			市民向け説明会 参加者・開催数	人/回	目標値 実績値
	%	達成率	—	—	
広報配布物 (配布数・発行回数)	枚/回	目標値 実績値	27,000枚/1回	27,000枚/1回	
			%	達成率	—
	%	達成率			
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値			
		実績値			
()	%	目標値			
		実績値			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					
発電事業者である千葉銚子オフショアウインド合同会社（三菱商事洋上風力株式会社・株式会社シーテック・三菱商事株式会社）と連携し、市民向け説明会(令和4年4月27日)を開催した。洋上風力発電事業の概要や今後のスケジュール、地域共生策などを説明し、事業に対する市民の理解促進を図った。また、令和4年12月、経済産業省及び国土交通省が、再エネ海域利用法に基づく銚子市沖促進区域について、発電事業者から提出された公募占用計画を認定した。					

事業の課題	漁業共生、地域振興、人材育成、観光振興、景観への配慮などの各事項について、事業者や地元関係者と連携を図り着実に進めていくことが求められる。				
事業の検証	評価視点			総合評価	
	必要性	有効性	効率性	A: 計画どおりに事業を進めることが適当	
	高い	やや高い	やや高い		
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)	
	成果の方向性	拡充			
現状維持			○		
縮小					
休廃止					
	皆減	縮小	現状維持	拡大	国、県、漁業者、商工業者、観光事業者、発電事業者などと連携し、地元との協調・共生のもと、地域活性化につながる洋上風力発電施設の誘致を目指す。
コスト投入の方向性					

行政経営評価シート

事業ID	10804020224
------	-------------

事務事業名	名洗港港湾整備経費	所管	産業振興室
-------	-----------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(5)-2 洋上風力発電施設の誘致
	関連計画	○ : 総合戦略 — : その他 (—)
	目的	洋上風力発電事業の建設補助、維持管理港として整備し、洋上風力発電事業を推進する。
	対象	港湾管理者 (千葉県)
	事業内容	千葉県が実施する名洗港港湾整備事業の地元負担金を支出している。補助事業は16.85%、単独事業は30%の負担金が発生する。令和4年度は、防波堤の改良工事や設計委託などを実施した。

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	165,096	70,788			53,800	4,715	12,273

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3	
			名洗港港湾整備負担金	円	目標値 実績値
	%	達成率	—	—	
		目標値 実績値			
	%	達成率			
		目標値 実績値			
	%	達成率			
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
()			目標値 実績値		
()	%	達成率			
()			目標値 実績値		
()	%	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					
千葉県が実施する港湾整備事業であり、令和4年度は防波堤の改良工事と設計委託などを実施した。銚子沖洋上風力発電のメンテナンス港として使用予定のため、港湾施設の機能確保を行う。					

事業の課題	地元負担 (財政負担) が大きい。					
事業の検証	評価視点			総合評価		
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当		
	高い	高い	高い			
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 洋上風力発電のメンテナンス港として名洗港の整備事業費は拡大していくが、地元の負担が非常に大きいため、財政措置などを国に求めていく。		
	成果の方向性	拡充	現状維持			縮小
	○					
	皆減	縮小	現状維持	拡大		
	コスト投入の方向性					